まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 680 号
令和 2 年 8･9 月合併号
「2 色刷り」

←Facebook に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

暑中お見舞い
申し上げます

この度の、新型コロナウイルス及び豪雨災害に被災された方々にお見舞い申し上げます

西日本研修センターでは、2月当初に入所した研修生、9ヶ国1地域、12名の研修生も無事、研修に取り組んでおります

外部でのイベント・行事等が自粛中ですが、センターにバンブーハウスが出来ました

皆様のお越しを楽しみにしております

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【6･7月の新入会】

社会福祉法人 純正福祉会　（センター）
諸江 亮哉　（センター）
野口 昭政　（熊本推協）
九州高圧コンクリート工業株式会社　（センター）

【6･7月の寄付金】

中村工業株式会社、水上 信子、飯川 博基、大橋 克幸
福岡リバティライオンズクラブ

【6･7月の寄付品】

堤慎一郎、馬場雄治、砥上千恵子、読売センター早良南、西村征子、薦田稔、福岡リバティライオンズクラブ、原田明、サン･クロレラ販売㈱、佐藤俊一、園田法文、泉利佳、榮樹里、樋口伊都、吉田健朗、中村工業㈱

8 月の予定

3 日　県庁パネル展示(～12 日)
5 日　県庁パネル展示野菜販売会(7 日も)
8 日　ラボパーティ交流会
17 日　四国研修センター研修生来所(～19 日)
20 日　佐賀県推進協議会幹事会
31 日　佐賀県議会議員連盟設立総会

鬼木大明神　今月の一句

何事も手を抜けばあっという間に時間は
過ぎ、いつしか年老い、到達することが難しく
なるものだ！学問に限ったことではない。
志一つでも人生でも時間を惜しんで
目標に向かって突き進め！
時間の経つのは恐ろしく早い。
光陰矢の如しだ！
夢や目標があるならば
そこに向けて、
日々精進せよ！
年令は関係ない。
何かしようと思いさえすれば
何だってできるのだ！！
すべて手遅れではないのだ！！

西日本研修センターへ緊急マスク寄贈

５月８日、福岡玄海ライオンズクラブ様より新型コロナ対策用のマスクをご寄贈いただきました。研修生たちは日々生活に気を付けながら手洗い、消毒を励行して飛沫を浴びないようにマスクの着用をしています。また毎朝検温をして、食事の際はお互いの間隔をとるなど健康管理をして研修に励んでいます。研修生達は日本の生活にも慣れ、日本語もだいぶ理解できるようになりました。一日も早い終息を心待ちにしながら、元気に頑張っていきたいと思います。当クラブからはこれまでも数々のご支援をいただき、今回もこのような心温まるマスクのご寄贈をしていただき本当にありがとうございました。 大切に使わせていただきます。（満川）

福岡玄海ライオンズクラブの皆様との記念撮影

体験農園だより

7 月は本当によく雨が降りました。確か 5 年ぐらい前になりますが、試しで作った枝豆が非常によくできて、それがとても美味しくて皆さん感動していたことを思い出します。その時から枝豆に対する期待が毎年膨らむ中、周囲の期待をよそに、ここ3年間はどういうわけか全く実がつかず、口にできない年が続きました。原因は「猛暑による栄養の消耗で実がつかないのでは」と説明してきましたが、本当の原因はわからずじまいでした。そして今年、あまり期待されてもまずいので内緒で枝豆の栽培を行い、ある程度いけるのではないかという手ごたえを感じてから番号札を立てました。

7 月 18 日から収穫の案内を出し、週末にはたくさんの方に収穫に来ていただきました。
コロナの影響で家飲みが多くなっている中、ビールの友にオイスカの枝豆は最高です(豊田)

海外研修生表敬訪問

7月15日と20日に福岡県、福岡市、早良区、福津市の表敬訪問をしました。来日して5ケ月になりますが外出自粛等でやっと表敬訪問ができました。研修生は民族衣装を着用して庁舎へ入り歓迎を受け、一人一人日本語で自己紹介を行い、また歓談をするなど激励をしていただきました。福岡県、福津市ではパプアニューギニアのOB研修生アフィーさんが研修生代表スピーチを行い、福岡市、早良区はフィリピン OB 研修生のジェリミーさんが挨拶をして日本での研修への意気込みを述べました。研修もこれから後半に入っていきますが引き続き研修に励んでくれることと思います。この度はお忙しい中、表敬訪問の機会をいただきありがとうございました。これからも宜しくお願いします。(満川)

早良区表敬訪問(右端 永渕区長)

福津市表敬訪問(中央 原﨑市長)

福岡県表敬訪問(中央 古川国際局長)

宮地嶽神社(福津市)を見学しました(日本一の大注連縄)

福岡市表敬訪問(中央 龍総務企画局長)

オイスカ国際活動促進 福岡県議会議員連盟総会

6 月 11 日、福岡県議会棟大会議室にて、令和 2 年度議員連盟総会が開催されました。
コロナ禍の影響で総会参加者は全員マスク着用での開催となりました。現在 83 名の県議会議員の方々が会員として参加を頂き、塩川秀敏会長の指揮のもと、令和元年度事業報告・決算報告ならびに令和 2 年度事業計画・予算を審議頂きました。

本来であれば、2 年毎の海外 OB 視察で 7 月末よりモンゴルへの視察が予定されていたのですが、コロナの影響で延期となりました。また、議員連盟の方々より自治体にもお声を掛けて頂き、複数の新規自治体のオイスカ支援会員参加の報告も頂きました。センター所長の廣瀬からは、今年度研修の進捗を報告しました。議員連盟の皆様のオイスカ活動に寄せる思いが伝わる総会となりました。(廣瀬)

オイスカ会員ご紹介コーナー

学校法人 明日香学園

(理事長:田中由視)

オイスカの法人会員として昭和54年にご入会をしました。そのご支援活動を続け、現在はオイスカ大分県推進協議会の会長を務めています。大分県内においては、オイスカの海外研修生を大分に招いての交流会や視察研修などを行ってきました。また大分県内の多くの会員さんにはオイスカ活動へご支援をいただき誠にありがとうございます。
それではここで当学園のご紹介をいたします。

◆明日香美容文化専門大学校
明日香美容文化専門学校は今年創立76周年を迎える九州でも2番目に歴史のある美容師の養成施設です。西日本トップレベルの施設、設備で効率的に指導を行い美容師国家試験では毎年ほぼ全員の合格を果たしています。

◆明日香国際ブライダル＆ホテル観光専門学校
本校は大分初のブライダルとホテルの専門学校です。ブライダル学科はプランナー、ドレスコーディネーター等のカリキュラムを幅広く学べます。ホテル観光学科には日本人だけでなく留学生も多く在籍をしています。

◆明日香日本語学校
本校は今年創立28年を迎えます。教育方針は異なる国籍、異なる価値観を有する人々の交流の中で日本語学習を通し、語学の知識の習得だけではなく対話力を向上させ、社会の中で通用するコミュニケーション能力を磨くことです。コースは2年・1年9ケ月・1年6ケ月があります。これまでネパール・ベトナム・スリランカ・中国・韓国・インドネシアなど25ケ国にも及ぶ学生を受け入れしています。
卒業後はアジア立命館大学・日本文理大学など大学や本学園の中にある明日香ブライダル＆ホテル観光専門学校などにも多くの学生が進学しています。

上記3校は同じ施設内にあり共に学び異文化の交流のできる学校となっています。
大分駅より徒歩2分の好立地条件と大分の素晴らしい自然の中で学生は楽しく学んでいます。

日本文化体験🌸浴衣の着付け

今年の梅雨は長かったですね。梅雨が明けるころ、7 月 29 日にセンターにて浴衣の着付け体験を行いました。講師は、センタースタッフの友池さんと毎年お世話になっている 3 名の方達です。研修生は、男性 9 名、女性 5 名、全員参加となりました。今年は、山笠や花火大会などの行事を見物することが、かないませんでしたが、この日は、みんな晴れやかな笑顔で艶やかに浴衣を着こなしていました。そして、お決まりの写真撮影大会になりました。雨の晴れ間にかかった虹が空から見守ってくれていました。研修生にとって、日本でのすてきな思い出の 1 ページになったことでしょう。（立石考子）

友池お母さんから浴衣の作り方を教えてもらいました。ちょっと難しかったですけど、たくさん勉強になりました。自分の浴衣は出来たし、着付けの勉強もできてとても嬉しかったです。(家政研修生・ウス)

↑集合写真

←着付けの練習

農場研修風景

6 月に入ってからオイスカ農園の野菜の収穫の量がだんだん増え始めたので、朝の収穫のスケジュールが今までと大きく変わりました。起床が 5 時 15 分で 5 時 30 分から全員で収穫作業、そして7時半まで出荷準備をしてその後に朝ごはんという流れになっています。あれから2カ月が経過し、収穫する野菜はピークの頃と比べてだいぶ落ち着きましたが、お陰様で例年に比べてミニトマトとキュウリの収穫量がだいぶ多かったので、一時期はみんなでヒーヒー言いながら袋詰め作業を行いました。農業は一袋 100 円という金額を積み重ねて売り上げを伸ばしていく世界なので、なかなか大変な仕事ですが、みんなで汗をかきながら行えばそれも楽しい作業になります。

8 月からは秋作の苗づくりが始まりますが、これからもほどほどに気合を入れてがんばっていきましょう。(豊田)

販売準備の様子

農業講義の様子

バンブーハウス完成

建てはじめ

作業中の様子

西日本研修センター新名物バンブーハウスが完成しました！フィリピン人スタッフのアルネルさんと OB 研修生のジェリミーさんが、5 月 5 日からコツコツと作業を続け、7 月 3 日に完成しました。伐採した竹は 100 本以上で、研修生にも手伝ってもらい、完成時にはスタッフ・研修生で記念撮影をしました。また後日、雨の中完成パーティを行いました。広さは約 7 畳で 10 人以上入ることができ、ベンチも取り付けてあるので、大人数で利用することができます！フィリピンでは、田畑の近くにバンブーハウスを建てることもあり、農作業の途中で休憩するそうです。(飯川)

OB 紹介コーナー⑮

今回の OB 研修生紹介はパキスタンのマフムド(Mahmood Khalid)さんです。
彼は 2008 年の研修生で、研修修了後しばらくしてから日本人の女性と結婚して、埼玉県に在住をしています。現在はパキスタン料理のお店を千葉県に 3 月からオープンしています。

皆さん、こんにちわ。私はパキスタンのマフムドです。2008 年の有機農業コースの研修生です。
私は家族と一緒に埼玉県に住んでいます。以前は中古車をパキスタンに輸出する仕事を長くしていました。
その間にパキスタンでイチジクの栽培をはじめ、今は弟にその栽培をまかせています。そして、今年の3月に千葉県でパキスタン料理のレストランをオープンしました。コロナの影響でお客さんが来るか心配でしたが、最初は日本人のお客さんにたくさん来ていただき、売り上げも予想通りの金額まであがりました。今は日本人よりもパキスタン人のお客さんが多いです。レストランでの私の仕事は、お客さんと話をして料理の味やメニューを改善する事に取り組んでいます。
そして今は、コロナの影響で仕事をなくしたパキスタンの人が何人かいるので、その人たちにボランティアで食事の提供もしています。先日九州で豪雨の被害がおきて、私がお世話になったセンターのスタッフやオイスカ会員の皆さんが心配でしたが、電話で安全を確認出来てよかったです。まだ大変な人が沢山いるでしょうがはやくもとの生活に戻れることをお祈りします。コロナの影響で東京の方へ来る用事はあまりないでしょうが、もし東京に来る機会があったら是非私のお店に来てください。

←右から3番目がマフムドさん

←マフムドさん

←お店のカード

技能実習生紹介

3 月末よりオイスカ関西事務所管轄の技能実習生 2 名(フィリピン：工業包装)が久山町にあるネクスタラッピイ福岡工場(軽包装用品、環境保全関連商品の製造)に配属されました。ネクスタグループの本社は大阪にあり関西(兵庫)と千葉の工場で2年前より技能実習生の受け入れを開始、本年より愛知、九州(福岡)工場での受け入れも開始されました。今回九州工場に配属となったブレンダとジェーンも 3 月末より実習を開始、4 か月が過ぎ仕事にもだいぶ慣れた様子でした。社員の皆様からも日頃より気に掛けてもらい日用品の買い物などに連れて行ってもらっているようです。西日本研修センターにも一度連れてきて他の研修生達とも顔合わせをさせたかったのですが、コロナ感染の心配もありこれまで見合わせていました。先日やっと感染対策を十分にとりセンターへ連れてくることが出来ました。2 人も同世代の色々な国の研修生と交流ができ、またセンターのフィリピン人スタッフともいろいろな話や相談ができ安心した様子が見られました。まだまだ不自由な生活が続きますがセンターの一員として引き続きサポートしていきたいと思います。(彦坂)

ブレンダ(左)　　ジェーン(右)

体験農園田植え大会

6 月 6 日、今年初の外部の参加者を交えての田植え大会を開催しました。コロナの影響で、各種交流会・行事等が中止となる中、今年度の研修生にとっては初の対外的なデビューとなりました。今回は、体験農園参加者及び、岩田産業社員の皆様とで総勢 100 名近くの参加者での実施となりました。研修生も子供たちと一緒にサポートしながらの田植えで、お互い泥んこになりながら楽しいひと時を過ごしました。昼食はおにぎりを配り、天候にも恵まれたため、センターグランドでそれぞれが距離を取りながら楽しくおにぎりを頬ばって頂きました。9 月には稲刈りを行います。美味しい新米が待ち遠しい所です。(廣瀬)

↑初めての交流会

東峰村ボランティア

6 月 23 日、なかなか外出する機会も少ない中、研修生全員で東峰村へ草刈ボランティアに行きました。オイスカ会員の坂本様のはからいで、女性は昼食作り、男性は草刈に励みました。研修生には 3 年前の北部九州豪雨の被害についての説明を行い、現在復興中の地域の様子を見てもらい、日本の復興事業も研修の一環として視察をしました。草刈終了後は、川で汗を流し、疲れながらも楽しい一日となりました。坂本様ありがとうございました。(廣瀬)

←皆で昼食を作りました

熊本ボランティア

6 月 18 日、熊本の西原村のサツマイモ農家さんのところへスタッフと研修生でボランティアへ行きました。
今回はサツマイモハウスの片付けと周辺の草刈りを行いました。みんなですると あっという間に作業が終わりました。お礼にいただいたサツマイモは、今センターの畑で元気に育っています！(園田)

←作業終了後、みんなで記念撮影

ひなた園田植え交流会

6月17日（水）、佐賀県にある「ひなた村自然塾」（オイスカ会員の保育園）が主催する田植えイベントに久しぶりに参加してきました。今年はコロナの影響もあり、他の団体も含めて交流会は自粛してきたので、研修生にとっては初めてのイベント参加になりました。最初の打ち合わせでは、あまり近づかないようにディスタンスをとりましょうと話していたのですが、子どもたちと研修生の間にディスタンスを取るのはなかなか難しいようで、田植えが始まってからは、研修生が子どもたちに苗を 5 本ずつ渡しながら、仲良く密な状態で田植えを行いました。

田植え終了後は、保育園の給食を一緒に食べたのですが、研修生が食べ終えてから、また子どもたちと楽しい交流の時間がはじまり、本当に微笑ましいほど仲良く楽しい交流の時間をすごしていました。そして最後に保育園の子どもたちとさよならする時に、一人の先生が「なんだかさよならするのが名残惜しいね」と隣の先生に話しているのを聞いてとても嬉しく思いました。短い時間でしたが、こんなにも仲良くなれるものかと、改めて研修生の人を引き付ける力の偉大さを感じました。(豊田)

プレゼントをもらいました

アトリエ木下撮影会

7月21日オイスカ会員のアトリエ木下様の写真撮影会が福岡市中央区の浄水通り本店で行われ研修生14名をはじめスタッフのご招待を受けました。研修生達は民族衣装を着用し、女性研修生にはメイクをしていただくなど、フォトグラファーの方に最高の表情とポーズをつくっていただき撮影をしてもらいました。今回はこのような時期で、撮影会だけの行事でしたが今年で撮影会も5回目となり研修生たちにとってよい思い出になると思います。撮影をしていただきました写真は西日本研修センターのロビーに展示をさせていただきます。また例年アトリエ木下様の写真展に展示をしていただいていますが、今回は9月のWEB写真展（未来に繋ぐキズナWEB写真展「フォトフェス 2020」）に展示していただくことになりました。木下社長様はじめスタッフのみなさま毎年ありがとうございます。（満川）

↑アトリエ木下社員と皆さんとの記念撮影（中央 木下社長ご夫妻）

→女性研修生

→パシフィックのグループの研修生

→メキシコ研修生のマーティンさん

新品の管理機をいただきました

いつもオイスカの活動に対しご支援をいただいております、東峰村にある農機具屋さん「ハートフィールドさかもと」の坂本進様より、農業用の管理機（新品）を寄贈いただきました。今回いただいた管理機は、これから植え付けが行われるキャベツやダイコンなどの中耕のために非常に重宝で、大きな活躍が期待されます。
研修生たちも「これで私たちの草取りの作業が楽になります」と喜んでいました。(豊田)